



プレイヤーが競技中に身につけられるものについて

色の指定あり

- マウスガード（無色透明）

チームで色を揃える必要があるもの

- ユニフォームの下に着用するコンプレッション系のシャツ
- 腕のコンプレッションスリーブ
- 脚のコンプレッションスリーブ
- ヘッドギア
- リストバンド
- ヘッドバンド
- サポーター類
- ヘアバンド
- 手甲

チームで色を揃える必要がないもの

- 十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
- 膝の装具（※1）
- 足首の装具（※1）
- 眼鏡
- 負傷した鼻のプロテクター
- テーピング
- マスク
- ※1/装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことで、病院で診察を受け、医師の処方のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

ソックスは上記と色を揃える必要無いです、選手全員で色を揃えること。例>ソックスは白、ロングタイツは黒でもOKです。

フレンドリーカテゴリーの大会ではソックスも含め色を揃える必要はありません。



プレイヤーが競技中に身につけられるものについて

チームで色を揃える必要があるもの

○腕のコンプレッションスリーブ



○脚のコンプレッションスリーブ(パワータイツ)



○ヘッドバンド



※最大10cmの幅で、繊維系材のもの

○ヘッドギア



○ヘアバンド



○手甲



○リストバンド



※最大10cmの幅で、繊維系材のもの
※紐が長く垂れすぎないこと

○肩のサポーター



○膝のサポーター



パワーファインド社製のゲニョトレインについて

パワーファインド社製のゲニョトレインは医療器具のため装具として扱われます。そのため色の制限はありません。

○足首のサポーター



○指、手および手首のサポーター



○腕・肘のサポーター



着用例

- OK** ① 腕のコンプレッションスリーブ(黒)+ヘッドギア(黒)
- NG** ② 脚のコンプレッションスリーブ(黒)+膝のサポーター(白)
⇒脚のコンプレッションスリーブとサポーター類は、色を揃える必要があります。
- OK** ③ リストバンド(白)+ヘアバンド(白)+膝の装具(黒)
⇒膝の装具は、リストバンドとヘアバンドと色を揃える必要がないものです。

プレイヤーが競技中に身につけられないものについて

○スカーフスタイルのヘッドバンド



○点滅するライト、反射素材や その他装飾物が付いたシューズ



○ヘルメット



○無色透明以外のマウスピース

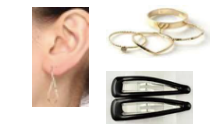


(メーカーロゴ、番号・名前が入っているものも着用不可)

○商業的、宣伝的、チャリティー目的の名前やマーク、 ロゴやその他特定できるもの



○ヘアアクセサリや貴金属類



○柔らかいパッドで覆われていても、 指、手、手首、肘や前腕の防具





シャツの着用について

- 半袖シャツと長袖シャツの混着用は認められますが、色はチーム内で統一してください。また、身体のシルエットがわかるコンプレッションウェアの着用は可能です。
- ただし、ロングTシャツや袖口が広がったシャツの着用は不可とします。
- タイツについては、シャツの色に合わせて統一してください。（例：シャツが黒の場合、タイツも黒を着用する必要があります）
- シャツは全体として単色で柄や模様が入ったものは着用できません。ただし、模様があっても単色と認定できるものはJSBの承認後に着用できます。
- 襟元や袖に同系色以外のラインが入っているものも不可とします。
- メーカーのロゴの表示は可能ですが、色に制限はなく、大きさは20cm²以下とします。

使用できるシャツ



ハイネック



ロゴが入っている



模様があるが
単色と認定できます。

使用できないシャツ



模様がある。単色ではない。



ラインに同系色では
無い色がついてる



コンプレッションの
ウェアではない



JSB

JAPAN SOCIETY BASKETBALL FEDERATION

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-27 後楽鹿島ビル6F
TEL 03-6852-2030 FAX 03-6852-2031

一般社団法人 日本社会人バスケットボール連盟

JSB競技規則
2025年度版

装具について（プレーヤーが競技中に身につけられるもの）

装具の使用の際は大会本部へ診断書などを提示してください

装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことです。これらは病院で診察を受け、医師の処方（診断書）に基づいて製作され、一時的に使用されます。

大会本部での対応について

下記を確認してください。

- 医師の処方（診断書）。
- 競技中に相手選手にケガを負わせる可能性がないかを確認。
- 診断書が無い場合でも、選手の装具が「医療機器」の場合は大会本部の判断で出場することができます。

※医療機器とは、一般医療機器番号などが装具に掲載されていることです。詳細は以下のURLで確認できます。

<https://www.pmda.go.jp/safety/consultation-for-patients/on-devices/qa/0022.html>